



このまま進んでいいのかワンマン運転！

このまま進めていいのかワンマン経営！



輸送サービス労組中央本部主催

JR東日本の「ワンマン運転」を考える院内集会

～私たちは快適で利用しやすい鉄道の運行を求めています～

2024.9.24 15:30～衆議院第二議員会館

来年3月にワンマン運転実施予定の 常磐緩行線・南武線で 明らかになっている課題の数々！

○常磐緩行線

- スマートホームドアは、すきまがある。列車起動開始後はセンサーが機能しないため、子供が手を入れたりしても列車を止められない！
- 酷暑でモニターが故障したため乗務員の訓練がかなり遅れている！
- JR・東京メトロ・小田急で、機器の統一が出来ていない！

○南武線

- TIMS 画面でドア扱いを行う！
- 混雑が激しく、踏切も多い特情！

○未だ解決しない短・中編成ワンマンの課題

- カメラに不具合があっても会社は「支障ない」と回答している！
- 異常時に列車を離れた際、事前に放送できなくなる旨を伝えたにも関わらず、列車に戻ったら「なぜ放送がないのか！」と怒鳴られ、ドアコックを扱われていた事象もある！

JR東日本は、まず足元の課題に向き合い、安全と信頼を再構築するために努力すべきだ！

私たちは、地域の皆さまとともに、安全で、すべての利用者が快適で利用しやすい鉄道を目指していきます！

参加いただいた議員・マスコミの

皆さまからの発言

○長編成ワンマン運転について

- 明らかに利用者を見殺しした施策であると感じる。
- 安全第一という言葉が死んでいる。
- すでに千葉で重大事故が発生し、首都圏でワンマン運転が始まるとどうなるのか危惧している。

○TIMS を利用したドア扱いについて

- 反応が遅いと聞いている。しっかりとした検証が必要だ。
- 物理的なスイッチではなく、画面操作で繊細なドア扱いが出来るのか心配だ。
- 事故を未然に防ぐための取り組みが重要だ。

○JR東日本の経営姿勢について

- 東北新幹線の列車分離は、東北本部長が定例会見で謝罪したのみ。ことさらフェイルセーフを主張していたが、何があっても列車分離させないためのフェイルセーフが必要では無いか。
- JR東日本は、鉄道以外が主流になっている。
- 全ては経営の問題だと感じる！